

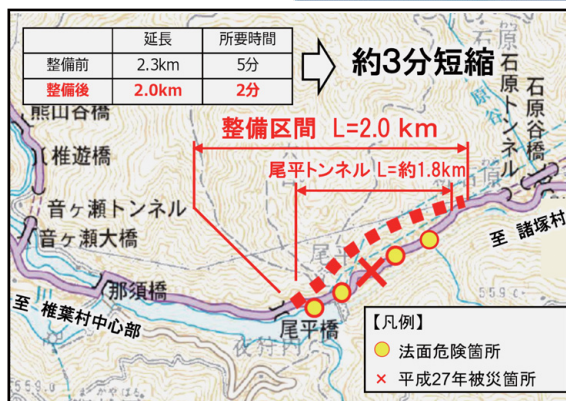
令和3年度道路整備完成事例

● 国道327号 尾平工区 (椎葉村)

一般国道327号は、日向市を起点とし、美郷町、諸塚村、椎葉村等を経由し熊本県に至る路線であり、日向・入郷圏域の交流連携や産業振興、さらには、救急医療や災害時の救援活動など「命の道」としての役割を果たす重要な路線となっています。

尾平工区は、幅員狭小、線形不良の解消を図るとともに、防災点検の要対策箇所を迂回する安全で円滑な交通の確保を目的として延長2.0kmのバイパス整備を進めてきました。

尾平工区の完成により、安全で安心な交通が確保されるとともに、地域間の連携強化や救急医療施設等へのアクセス性の向上など緊急輸送道路としての機能向上につながりました。



【期待される整備効果】

- 安全で安心な交通を確保
- 地域間の連携の強化、地域の産業振興等を支援
- 救急医療施設等へのアクセス性の向上
- 緊急輸送道路としての機能向上



整備前
幅員が狭く、離合が困難な状況



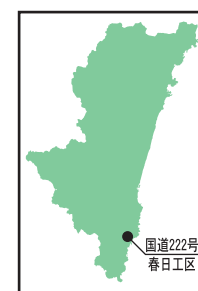
整備前 道路災害状況
平成27年6月20日発生 交通途絶：3日間



整備後

令和3年度道路整備完成事例

● 国道222号 春日工区 (日南市)



一般国道222号は、宮崎県の主要都市である都城市と連絡する重要な幹線道路であり、産業や文化・経済の交流を支える重要な道路です。また、当路線は緊急輸送道路の指定路線であり、異常気象等による災害時においても道路機能を確保する必要があります。

春日工区は、日南市の油津市街地に位置し、周辺には重要港湾である油津港や県立日南病院、幼稚園、小学校等の施設が集積しており、通勤通学による歩行者等が多い一方で、歩道内の電柱や段差により、歩行しづらい状況にあったため、交通安全対策として無電柱化を進めてきました。

春日工区の完成により、歩行者等の安全が確保されるとともに、緊急輸送道路及び啓開道路としての機能向上につながりました。



整備前



整備後

● 都市計画道路 松小路通線 松小路工区 (宮崎市)



都市計画道路・松小路通線(主要地方道 宮崎インター佐土原線)は、宮崎市中心部と佐土原町市街地とを南北に結ぶ幹線道路です。

松小路工区は、小学校の通学路に指定されているものの交差点付近の既設歩道は幅員が狭く、一部区間においては、歩道が未整備であり、歩行者が通行車両と交錯し、大変危険な状態となっていたため、交通安全対策として街路整備を進めてきました。

松小路工区の完成により、十分な幅員の両側歩道が設置され、通学児童を始めとした歩行者・自転車通行者の安全性の向上や、交通の円滑化につながりました。



整備前



整備後